

日本学術会議 法学委員会 セーフティネットと法分科会（第25期・第4回）議事要旨

日時 : 2021年9月2日(木) 13:00-16:00

開催場所: オンライン会議 (ZOOM ミーティング)

出席者 : 和田肇、秋元美世、有田謙司、岩永理恵、魚住明代、小澤隆一、笠井修、片桐由喜、亀本洋、川嶋四郎、只野雅人、豊島明子、内藤忍、糠塚康江、橋本祐子、廣瀬真理子、丸谷浩介、矢野昌浩、山田八千子 (敬称略)

欠席者 : 本庄武 (敬称略)

議事要旨

1 全世代型社会保障の課題について

丸谷浩介委員より、「全世代型社会保障の課題」について報告がなされた。その後、報告で述べられた「ニーズに応じた給付」と社会保険の特徴である定型的給付との関係、高齢者世帯の貧困率の高さと全世代社会保障政策との関係、不妊治療への保険適用の少子化対策としての有効性、社会保険制度の持続可能性、福祉契約論とセーフティネットについて、活発に意見交換が行われた。

2 非正規雇用とセーフティネットの課題

和田分科会長より「非正規雇用とセーフティネットの課題—リーマンショックとコロナ禍の比較」について報告がなされた。その後、副業を促進する法政策と雇用の流動化、雇用調整助成金の負担と給付、自営業と生活保護について、委員会で活発に意見交換が行われた。

3 「パンデミックと社会の連絡会議」の設置について

和田分科会長より、日本学術会議資料「『パンデミックと社会の連絡会議』の設置の背景と趣旨」に基づき報告があった。ジェンダー法分科会等、他の分科会の動きが紹介され、本分科会としていかなる貢献ができるかについて意見交換が行われた。

4 日本学術会議の「提言」の在り方について

和田分科会長より、日本学術会議資料「科学的助言機能・『提言』等の在り方の見直しについて (検討素案)」に基づき報告があった。「提言」などに加え新たに「見解」という表出方法を設けることについて委員会で意見交換が行われた。

5 その他

和田分科会長より、第5回は10月か11月頃、有田委員と岩永委員に報告をお願いすることが提案され、了承された。

以上